

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	白井市こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	98	(回答者数)	55
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	22
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達段階に合わせた療育の提供。	・発達段階に合わせたグループ編成をし、こどもの課題に応じたグループ療育を提供しています。 ・作業療法士や心理発達相談員や言語聴覚士などの職員による専門的な個別療育を提供しています。	・職員研修などを通じて、療育の質の向上に努めます。 ・多職種によるチームアプローチの充実を図ります。
2	・保護者支援	・就学説明会など保護者に向けた情報提供を行っています。 ・保護者同士のつながりが持てる機会を設けています。 ・療育のフィードバックの時間を確保しています。	・保護者のニーズを把握しながら、より良い保護者支援を検討していきます。
3	・施設的环境が整っている。	・生活環境が、こどもにとってわかりやすいよう構造化しています。 ・療育内容ごとに部屋が分かれていることや十分なスペースを確保しています。	・こどもの発達特性に応じて、環境を調整していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・手紙等による情報発信は多くあるが、電子媒体での発信が少ないです。	・情報発信の方法について、検討していきます。
2	・地域とのつながり	・徒歩圏内に幼稚園や保育園などが無く、交流の機会がもちにくいです。 ・保育園や幼稚園を併用して利用している児童が多いためであると考えています。	・地域との交流の機会を検討していきます。
3			